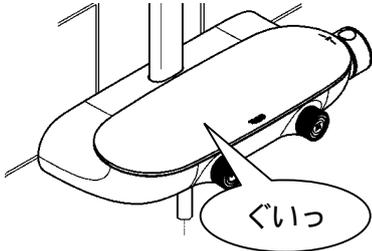


⚠️ 注意



禁止

器具に乗ったり、よりかかたりして無理な力を加えないでください。

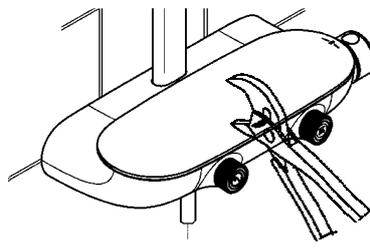


器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

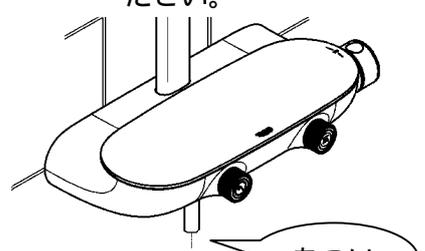


器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときにはホースは高温になっています。直接肌を触れないでください。

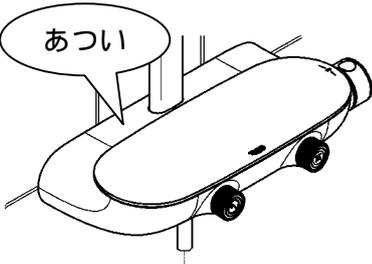


やけどするおそれがあります。



接触禁止

器具の左側は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどするおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。



落としたり、ぶつかけたりすると破損の原因になります。



禁止

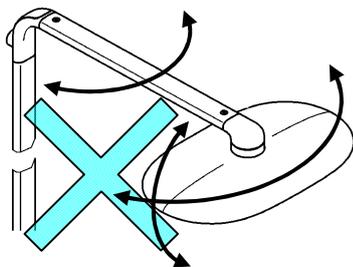
他所との同時使用により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。

やけどするおそれがあります。



禁止

ヘッドシャワー、シャワーアームは上下・左右・首振り等の操作はできません。ゆるみや落下の原因となりますので、操作しないでください。



器具のはずれや破損、けがをするおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドへは熱湯(60以上)を通さないでください。

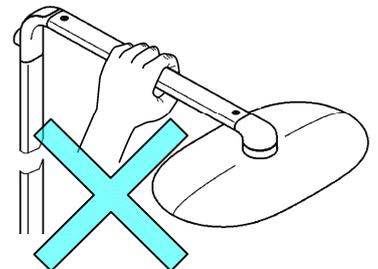


破損、変形、変色の原因になります。



禁止

アームやパイプにぶら下がったり手すりの代わりにしないでください。



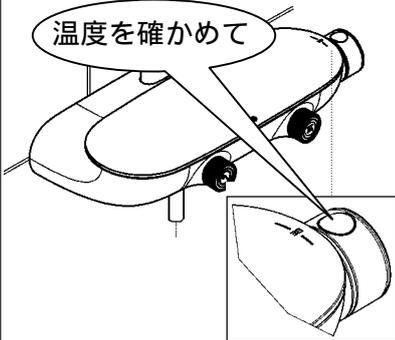
器具のはずれや破損、けがをするおそれがあります。

⚠️ 注意



温度調整ハンドルの表示を確かめた後、吐出してください。

温度を確かめて

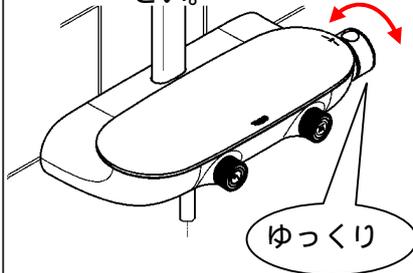


高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



温度調整ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。

ゆっくり



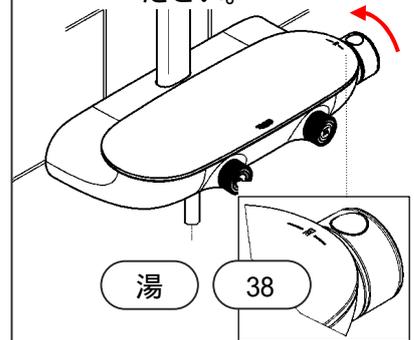
やけどするおそれがあります。



必ず温度調整ハンドルの目盛を38以下に戻しておいてください。

湯

38

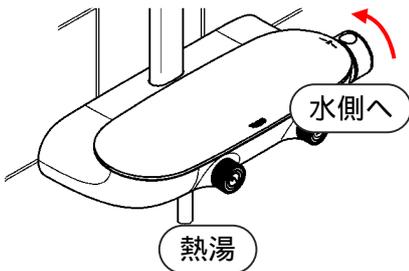


高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。

水側へ



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

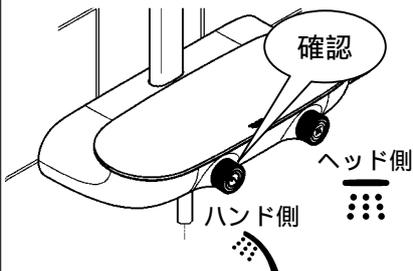


お使いになる前に、ヘッド側かハンド側かをプッシュボタンで確認してから湯をお使いください。

確認

ヘッド側

ハンド側

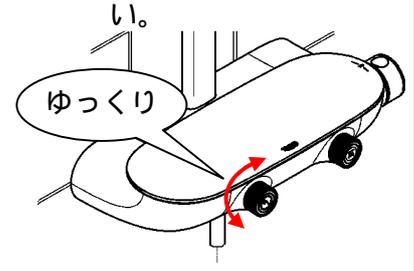


ヘッド吐出とハンド吐出を間違るとやけどするおそれがあります。



流量調整ツマミ操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

ゆっくり



漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。

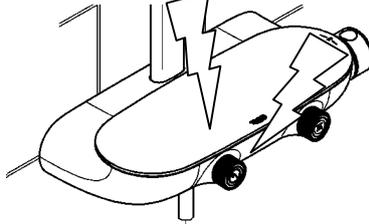


高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

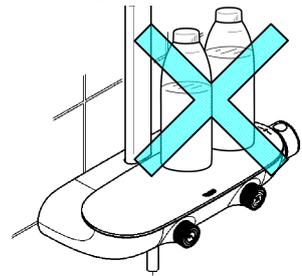
バリッ



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水栓本体の上にシャンプーや石けんのボトルなど重い物、すべりやすい物を置かないようにしてください。



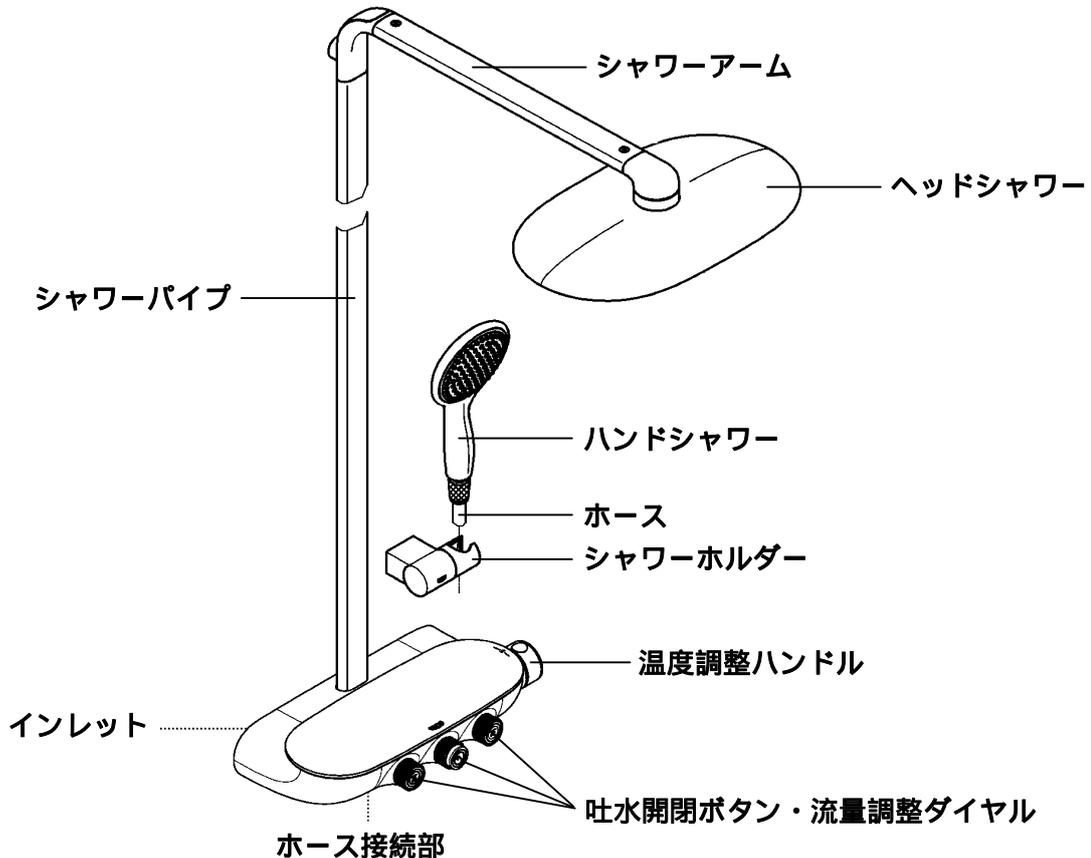
落下や破損、けがをするおそれがあります。

特 長

プッシュ式のパルプを使用し、ボタンを押すだけで吐水・止水の操作が簡単に行えます。
ダイヤルを回すことで流量の調整が簡単に行えます。
ボタンのアイコン表示と鮮やかなカラーインジケーターで操作が分かりやすくなっています。

各部の名称

機種、品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



ご使用前に

ピットスペースの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



⚠注意 ご使用上の注意

ガス給湯器と合わせてご使用の場合

比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度 + 10℃）にしてください。

能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。

吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。

給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。

このときは、給湯器の設定温度（能力切替は能力）を少し上げてお試しください。

レバー（ハンドル）の操作

レバー（ハンドル）操作は、急激な回転は行わないでください。

急激な操作をすると水栓または、配管部で音がたり、吐水温度が急激に変わります。

混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。

熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。

ご使用方法

1. 開閉ボタン

吐水の開閉

水栓本体正面のボタンを押すことにより、バルブの開閉を行うことができます。

- ボタンを押して 吐出が始まります
(緑色のインジケーターが表示されます)
- 再度ボタンを押して 吐出が止まります

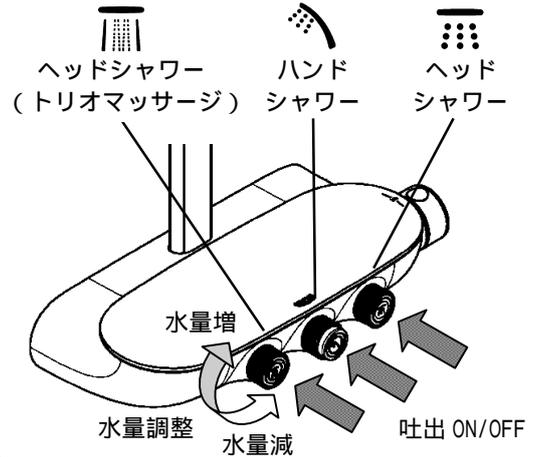
水量の調整

水栓本体正面のボタンを回すことにより、水量の調整を行うことができます。

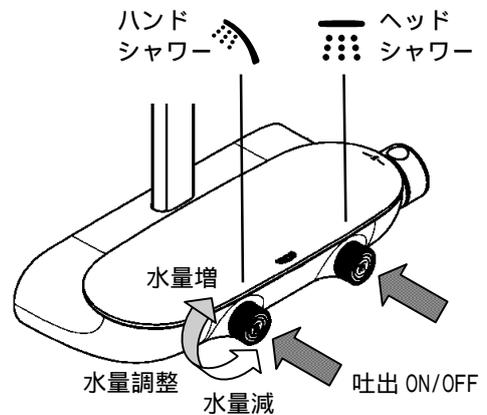
- 右に回して 水量を増やします
- 左に回して 水量を減らします

複数のシャワーパターンを同時に吐水したり、ヘッドシャワーとハンドシャワーを同時に吐水すると、水圧や流量によっては満足な当たり心地を得られない場合があります。

デュオタイプ 26 250 00J



モノタイプ 26 361 00J



2. 温度調整ハンドル

温度調整

水栓本体右側の温度調整ハンドルを回すことにより、吐水温度の調整を行うことができます。

- 手前側に回して 湯(高温)になります
- 奥側に回して 水(低温)になります

高温をお使いになるときは、必ず温度ダイヤルを水からゆっくり湯側へ回して、お好みの温度に調整してください。

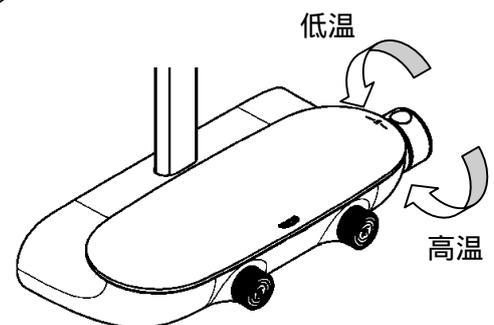
高温を出す場合(安全ボタン)

やけど防止のため38℃付近でロックするようになっています。

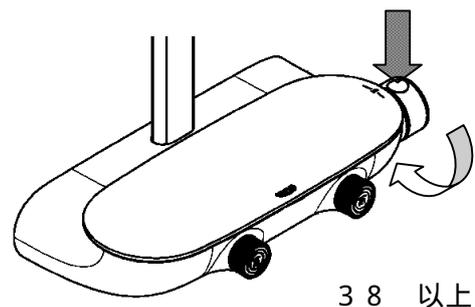
温度調整ハンドルの安全ボタンを押しながら、手前側に回すことにより、38℃以上の高温をご使用いただけます。

- ボタンを押しながら手前側に回して 高温(熱湯)側になります
- 奥側に回して 低温(水)側に戻ります

高温の使用後は、必ず温度調整ハンドルを38℃以下に戻してください。



高温はボタンを押しながら回す

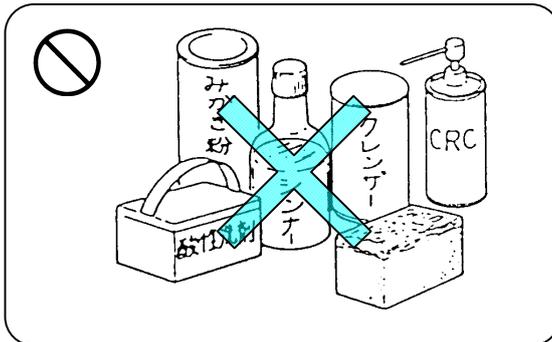


お手入れの方法

汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。その後水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロントワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

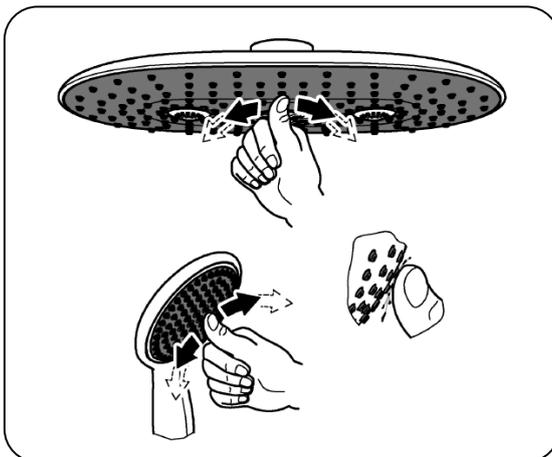


散水穴の清掃

シャワーの散水状態が悪くなった場合には、次の手順で清掃してください。

吐水開閉ボタンを押して止水状態にしてください。
散水穴（ゴム状の突起）を指で軽く撫でて汚れを落とします。

新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。



△注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

配管まわりの水漏れ（1ヶ月に1回程度）

配管まわりの水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

水栓本体のガタつき（1ヶ月に1回程度）

水栓本体のガタつきがないか確認してください。

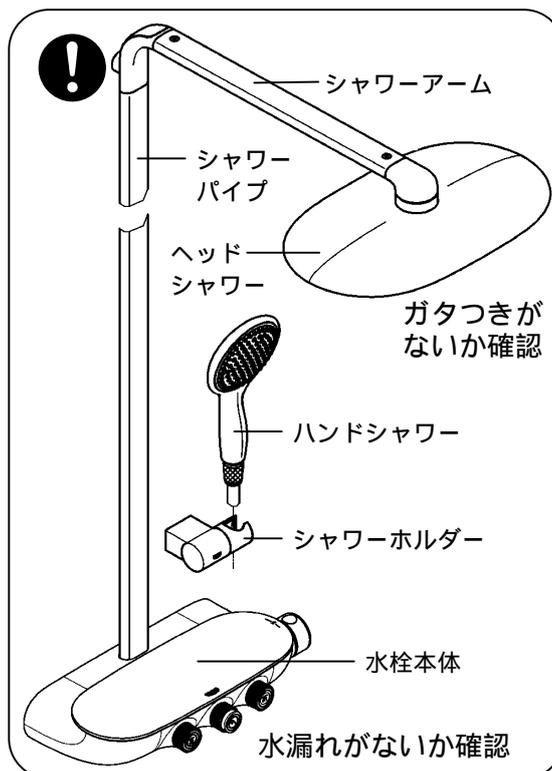
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーパイプ、シャワーホルダーのゆるみ

（1ヶ月に1回程度）

シャワーパイプ、シャワーホルダーのゆるみがないか確認してください。

ゆるんだままお使いになると、落下・けがをするおそれがあります。



故障かな？と思ったら（修理を依頼される前に）

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない （少なくなってきた）	配管内のゴミがシャワー散水穴にたまってきた。 給湯器の温度設定が不適切である。	(1) シャワー散水穴にゴミ詰りがいないか確認してください。 「散水穴の清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 温度調節がスムーズに出来ない	給湯器が正しく機能していない。 水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	(1) 給湯器の温度調節が正しく機能しているか、キッチンなどほかの水栓でも確認してください。 (2) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (3) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 以下の方法で調整してください。 1. 温調ダイヤルを湯側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 温調ダイヤルを水側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側いっぱい位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音がする	水の圧力（勢い）が強過ぎる。	止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	吐水開閉ボタンの内部にゴミが付着、または破損している。	販売店、据付業者に連絡して洗浄、または交換を依頼してください。
● シャワーヘッドから止水後水滴が若干滴下する	シャワーヘッドの構造上発生する内部残留水の滴下のため故障ではありません。	ハンドシャワーは止水後に振って、よく水を切ってからシャワーホルダーに納めてください。 ヘッドシャワーは大型のため特に内部残留水が多く、水栓本体の止水後、60秒～90秒前後滴下が続く場合がありますが故障ではありません。
● シャワーパイプ自体がぐらつく	取付ビス、固定ビスがゆるんでいる。	販売店、据付業者に連絡して、シャワーパイプをきちんと施工してもらってください。
● シャワーホルダーがぐらつく	取付ビス、固定ビスがゆるんでいる。	販売店、据付業者に連絡して、シャワーホルダーをきちんと施工してもらってください。

上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、据付業者、または当社サービス課へご相談ください。
上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	部品の交換 部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。 磨耗・劣化部品（水栓の種類によって異なります） 例）ヘッドパーツ、口金（整流器・エアレーター） 部品の交換については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合わせください。
使用年数												
お客様による日常のお手入れ・点検 消耗部品の交換（パッキン等） 磨耗劣化部品の交換												
取 付 日	買い替え ご検討											
	補修用部品の供給期間											
この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。 なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合わせください。												

アフターサービスについて

修理を依頼される時

お求めの取扱店、または弊社サービス課に修理を依頼してください。

< 保証期間中は >

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
- < 保証期間が過ぎているときは >
- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

< 修理料金は >

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

< 連絡していただきたい内容 >

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番（保証書または品番一覧表） |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問日 |

修理の依頼・お問い合わせは

グローエジャパン株式会社サービス課
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24時間（受付のみ）

サーモスタットシャワーシステム 一般地用

品質確認実施工場
認証登録番号
特記事項

グローエジャパン 株式会社 検査試験室
C-299
バス用「飲用使用範囲外設置品」

グローエジャパン株式会社

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

TEL 03-6748-1180 FAX 03-6748-1181

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階

TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

GROHE JAPAN ホーバールジ <http://www.grohe.com/jp>